

“すまい2.0 ショーケース”展開プロジェクト ～ アメニティ×レジリエンス住宅整備事業～ イメージ

コンセプト

- (1) 平常時は都市インフラが脆弱な環境下においても、快適に暮らせることができる住宅
- (2) 強靱性と安全性を国内トップクラスの極限まで高めることにより、災害時における被災リスクの回避し、電気・水道などの生活インフラが途絶しても、水・食料・エネルギーを自給自足することにより、復旧までの長期間（30日間）を自立して暮らすことを可能とする住宅
- (3) 長寿命かつ一層のCO₂削減を目標とし、住宅のライフサイクル（建設時～居住時～廃棄時）のトータルでCO₂収支をマイナスにするLCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）体験住宅（ただし、ペレットストーブ・ペレットボイラーのCO₂排出量は含めない。）

機能等

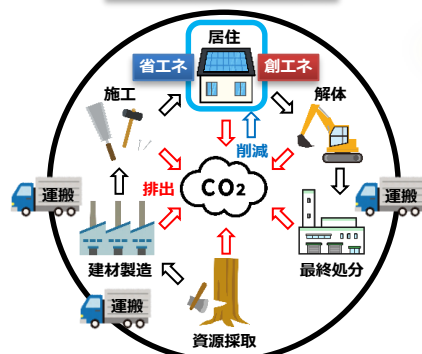
- (1) 性能基準・建築スペック
 - ア 備蓄：家族人数×30日分を収納できるスペースの確保（大収納空間）
 - イ 建物を長期初期保証（30年以上）で定期的なメンテナンス計画の下、建物を維持管理する制度等
 - ウ 断熱等性能等級：7相当
冬季室温安定化、災害時居住性・室温確保
 - エ 耐震等級：3相当
 - オ 耐風等級：2相当
 - カ 感知警報装置設置等級：4相当
 - キ 劣化対策等級（構造躯体等）：3相当
 - ク 維持管理対策等級（専用配管）：3相当
 - ケ 浸水対応：50cm程度の防水機能
 - コ 防犯：顔認証・スマートキー等導入
 - サ ウッドデッキ（建物本体工事に含める）
 - シ 地元産材：フローリング及び腰壁を想定

※上記は、住宅の品質確保等の促進等における法律の住宅性能表示制度における各等級に準じた要件とする。

- (2) エネルギー（自然エネルギー、木質バイオマス）
 - ア 太陽光発電（10kW以上）＋大型蓄電池（10kWh以上）
 - イ 太陽熱利用システム（設置場所は限定しない）
 - ウ 非常時給電システム（車から建物に給電できる設備一式）
 - エ ペレットストーブ（暖房）1台
 - オ ペレットボイラー（給湯）1台
- (3) 水
 - ア 非常時生活用水：雨水タンク（400ℓ程度）、水循環利用システム 1台
 - イ 非常用飲用水設備（300ℓ以上）
 - ウ 停電時対応タンクレストイレ
- (4) 食料
 - ア 電圧冷蔵庫 1台
 - イ 屋内野菜水耕栽培ベニユー 一式
- (5) 付帯機能
 - ア ドローンポート（3～4m程度）設置（設置場所は屋内・屋外を問わない）
 - イ EVコンパクトモビリティ（2人乗り）1台
 - ウ ビッグモニター・インターフェース 1台

※ホロボーテーション、オンライン診療、モニタリング機能等搭載 一式

LCCM住宅 （ライフサイクルカーボンマイナス）



プラン

- (1) 4人家族での利用・居住を想定
- (2) 2階建て以下（木造）
- (3) 延床面積は130㎡程度（リネン用大収納空間（30㎡程度×天井高1.4m以下）を含む床面積）
- (4) 間取りは3LDK（WEB会議ができるテレワークスペース（個室）を含む）
- (5) 建物用途は体験住宅（宿泊施設）

電気・水道が止まっても 自立して30日間暮らせる家

